

一般検査

色調	正常な色調は淡黄色～麦黄色です。飲水や発汗の量によって正常でも変化します。薬の影響でも変わることがあります。
混濁	尿は細菌や細胞成分で濁りますが、正常な場合でも結晶や塩類の析出によって濁ることがあります。
比重	尿の中にどれだけのものが溶けているかを測定します。
PH	通常の尿は弱酸性ですが、代謝・呼吸・腎臓疾患・食事・運動により幅広く変動します。
蛋白	主に腎臓や膀胱などの疾患によって排出されますが、健康な人でも運動後発熱時などに排出されることがあります。
糖	糖尿病のような高血糖の場合や、腎機能障害がある場合に排出されることがあります。
ケトン体	糖の代謝障害（糖尿病の悪化、インスリン不足）や、嘔吐、下痢、高熱などで排出されることがあります。
ウロビリノーゲン	ビリルビンの代謝産物です。通常（±）ですが、肝疾患や溶血性貧血または便秘で（+）、胆道の閉塞や下痢で（-）になります。
ビリルビン	ヘモグロビンの代謝産物です。肝障害・結石・腫瘍による胆管の閉塞により血液中のビリルビンが上昇し、尿中に排泄されるようになります。
亜硝酸	尿路感染症があると（+）になることがあります。
白血球	尿路に炎症があると尿中の白血球が増加します。
尿沈渣	尿中に含まれる細胞などの成分やその量を顕微鏡で調べます。
便潜血	便に血液が混入しているかどうか調べます。